



8号

NPO 法人よこすかシティガイド協会

黒船

発行：NPO法人よこすかシティガイド協会
 発行日：令和5年4月30日
 責任者：理事長 篠原 均
 編集：会報編集チーム リーダー 小舟浩治
 URL：<http://yokosuka.kankoh-guide.com/>



二十周年を越えて

理事長 篠原 均

三月には、創立二十周年を祝して盛大に祝賀パーティを開催して記念すべき年度を締めくくり、四月から新たな年度を迎えました。

この新年度の春に、二十周年記念事業として昨年度から準備していたものが二つ実現する予定なのでご紹介します。それは新たなガイドツアーの開始と、これまでの実績を大成したガイドブックの発行です。

ガイドツアーについては昨年度、記念事業として新ツアーを三つ企画しました。まず女性ガイドが企画したお客様参加型のツアー、これは昨年十月に実施し好評を博しました。残る二つは、横須賀居住の外国人に横須賀を知ってもらうツアーとホテル宿泊客への街案内ツアーです。

このうちホテル客のツアーを六月から開始すべく準備中です。これは協賛していただけるホテルの宿泊客を、毎日曜の午前中に横須

賀中央地区の街歩きガイドをするツアーです。土曜に中央地区は観光してしまっただけというお客様のため、観音崎地区のツアーも選んでいただけたようになりました。それぞれ「港よこすかハイライト」と「観音崎へ！うみかぜ散歩」と名付けました。

両地区合わせて一日あたりガイド三名で三班構成、お客様は一班最大八名で計画しています。ガイドは、一昨年入会の新人ガイドを主体に昨年度から研修を行い準備を整えています。またスマホからの申込を想定した専用ホームページから予約を受け付けます。準備が出来次第、まずはトライアルとして来年三月まで実施しノウハウを蓄積する予定です。



ガイド研修風景

もう一つのガイドブックについては、これまで二十周年にわたって蓄積してきたガイドツアーの中から珠玉のコースを選んで一冊の本にしたものです。タイトルは「風に吹かれて散歩道」。風光明媚、かつ多彩な歴史や文化に溢れる三浦半島を、横須賀を主体とした一日で歩いて巡る五十九コースを紹介しています。読むだけでもコースを巡っているような楽しい気分になっただけかと思いましたが、やはり実際に歩いていただきたいので、持ちやすいように、A5版の見開き二ページにコース紹介文と地図と見どころの写真を掲載する体裁で作りました。手に持って歩いていただければまさにガイド付ツアーとなります。

さらにはコラム欄で、横須賀の名所や歴史を深掘りしていますので、これも楽しんでいただきたいと思えます。発行しましたら書店での販売も予定しています。以上二つの新展開をポスト二十周年の第一歩として歩んでまいります。

■横須賀の名所紹介(第1回) 観音崎砲台群

横須賀は海軍と陸軍の街だった

横須賀には戦前、帝国海軍の横須賀鎮守府、海軍工廠、海軍航空隊、海軍航空技術廠などが置かれてまさに海軍の街でした。しかし実は陸軍の街でもあったのです。横須賀には東京湾要塞があったからです。

要塞とは「永久ノ防禦工事ヲ以テ守備スル地」と定義され、特に東京湾要塞は帝都東京と横須賀軍港を防衛するため、帝国陸軍によって東京湾口部に建設された日本最初の洋式砲台群です。

砲台が有れば、砲兵部隊が存在します。明治24年に要塞砲兵第1連隊が浦賀から不入斗に移転し、これが大正9年からは横須賀重砲兵連隊となり、横須賀に駐屯する陸軍の中核として親しまれました。戦前の横須賀は陸海両軍の街として栄えたのです。

我が国初の要塞砲台が観音崎

さて、東京湾要塞の砲台は、明治30年代までの建設期には20ヶ所が起工され、その内最初に建設されたのが観音崎砲台と猿島砲台です。中でも明治13年に起工された、観音崎第1、2砲台が我が国初の洋式砲台となりました。

見どころ

現在の観音崎公園区域内には9ヶ所の砲台が建設されましたが、「観音崎の砲台巡り」をするならお勧めは、第1砲台と第3砲台です。

第1砲台は2つの砲座に大砲がそれぞれ1門ずつ設置されていました。その砲座がほぼ原型を留めていますし、2つの砲座を繋ぐレンガ作りのトンネルやその下には弾薬庫も残っており、貴重な遺構です。



観音崎第1砲台跡



観音崎第3砲台跡

また、第3砲台は、左砲座は埋められています。右砲座は残っています。両座の中央下部には弾薬庫があり揚弾井も見られます。ここの大砲は第1砲台の敵艦を直接狙うカノン砲とは違って、放物線を描いて当てる榴弾砲だったので、すり鉢状の砲座が特徴的です。

東京湾を進む敵艦を攻めるのに、舷側に水平に当てて突き破るカノン砲の方が良いのか、上から落として薄い甲板を突き破る榴弾砲が良いのか、当時は議論になったそうです。舷側は分厚い装甲板でガードしているので、カノン砲が当たっても簡単には穴が明かないし、一方、放物線で飛ばす榴弾砲では命中率が低く当たりにくいのでどちらが良いか、という議論だったようです。

役に立ったのでしょうか

観音崎も含めて東京湾要塞の砲台は日清、日露戦争の時には戦闘配備につきましたが、幸い実践で発砲したことはありません。しかし、明治37年の日露戦争時に、ロシアのウラジオ艦隊が津軽海峡を經由し静岡沖まで来ましたが、東京湾へは侵入しませんでした。この要塞が抑止力を発揮したためという説もあります。

日本遺産の構成文化財です

この砲台はその後、兵器の進歩や国防方針の変更により、多くは大正時代に廃止されましたが、その歴史的意義は高く、平成28年に認定された日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財として、観音崎砲台跡、三軒家砲台跡、走水低砲台跡が登録されています。

観音崎地区へのご案内

当会では、東京湾を望む絶景のスポット観音崎地区の砲台巡りを企画しており、またご依頼があればご案内いたしたく、お待ちしております。

副理事長 玉井幸雄

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話090-6527-9684(理事長 篠原 均)まで

2023年度11月までのガイドツアー予定

No.	部会名	コース名	開催日	申込締切日	集合場所／解散場所
2023-6	観音崎	観音崎公園王道散歩	5/20(土)	5/11(木)	馬堀海岸駅／観音崎バス停
2023-7	西海岸	鎌倉殿を再び！頼朝・鎌倉入府～和田合戦	5/24(水)	5/17(水)	JR鎌倉駅西口／JR鎌倉駅西口
2023-9	衣笠	小網代の森から道寸まつりへ	5/28(日)	5/19(金)	三崎口駅／荒井浜海岸(道寸まつり)
2023-10	追浜	ケイワタバコの花との出会いへ	6/3(土)	5/25(木)	追浜駅／JR東逗子駅
2023-11	観音崎	横須賀の文化資産を巡る街なか散歩	6/6(火)	5/30(火)	堀ノ内駅／JR横須賀駅
2023-12	衣笠	新緑の棚田から高尾の里を経て新善光寺へ	6/10(土)	6/2(金)	JR衣笠駅／滝の坂バス停
2023-13	西海岸	大楠山から湘南国際村を経て奥葉山の棚田へ	6/15(木)	6/8(木)	JR衣笠駅／上山口バス停
2023-14	浦賀	黒船錨泊地を巡るシリーズ②八景島～野島～金沢八景を歩く	6/24(土)	6/16(金)	(シーサイドライン)八景島駅／金沢八景駅
2023-15	本部	軍港水道からヴェルニー公園を経て記念艦三笠、猿島へ	9/15(金)	9/7(木)	逸見駅／三笠公園
2023-17	衣笠	名勝森戸海岸から六代御前の墓を経て延命寺へ	10/14(土)	10/6(金)	逗子・葉山駅／逗子・葉山駅
2023-18	西海岸	子安の里立石の潮騒、そして浄楽寺運慶仏拝観	10/19(木)	10/11(水)	汐入駅／浄楽寺バス停
2023-19	追浜	Yフェスタおっぱまと夏島見学会	10/22(日)	10/12(木)	追浜駅／Yフェスタ会場
2023-20	観音崎	北斎ゆかりの古道を歩く	10/27(金)	10/19(木)	北久里浜駅／燈明堂入口バス停
2023-21	浦賀	どうする浦賀！家康の夢・按針の想い	10/28(土)	10/20(金)	安針塚駅／浦賀駅
2023-22	追浜	浦賀みちに続く金沢道を歩く1	11/4(土)	10/26(木)	金沢八景駅／上大岡駅
2023-23	西海岸	観音みちから佐島の海と丘を巡る	11/14(火)	11/7(火)	三崎口駅／芦名口バス停
2023-24	観音崎	陣屋を偲ぶ大津ぶらり旅	11/16(木)	11/8(水)	京急大津駅／京急大津駅
2023-25	浦賀	江戸東京湾口の海防地帯を歩く	11/18(土)	11/9(木)	浦賀駅／走水上町バス停
2023-26	衣笠	錦秋の名越切通から覚園寺へ	11/20(月)	11/13(月)	JR逗子駅／JR鎌倉駅

申込み方法については協会ホームページをご覧ください。

なお、集合・解散場所については変更もございます。

「よこすかシティガイド協会」ホームページ <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

NPO 法人 よこすかシティガイド協会 専任ガイドがご案内します

貝山地下壕：日本海軍航空発祥の地

浦賀レンガドック：近代化産業遺産



貝山地下壕ツアー
QRコード



浦賀ドックツアー
QRコード

貝山地下壕ガイドツアーのご案内

【開催日】 毎月第2土曜日、第4土曜日
【申込締切日】 開催日の2週間前金曜日

浦賀ドックツアーのご案内

【開催日】 毎月第1日曜日、第3日曜日
【申込締切日】 開催日の2週前月曜日
申込はQRコードまたは当協会HPから

トピックス

二十周年記念祝賀パーティー

鈴木 孝雄

二〇二三年三月二十二日、NPO法人よこすかシティガイド協会創立二十周年記念祝賀パーティーが「よこすか平安閣」において盛大に開催されました。

当日は、上地横須賀市長をはじめ横須賀市観光課、横須賀市観光協会、公益財団法人三笠保存会、株式会社トライアングル等の当協会が日頃、お世話になっている皆様をお招きして総勢四十五名となりました。

パーティーは、来賓代表者から「祝辞をいただいた後、余興（詩吟、古希宣言、三浦半島ほめことば、ああ、和田義盛）及びビンゴゲーム、カラオケ等、盛りだくさんでした。

特に今回は、創立二十周年記念というところで、引出物として「角なしさざん草最中」、ビンゴ景品として全国百貨店共通の商品券及び景品等、非常に豪華でした。

最後になりましたが、NPO法人よ



こすかシティガイド協会は平成十四年（二〇〇二年）十二月二日に設立された横須賀市観光ボランティアガイドの会から平成二十七年（二〇一五年）四月一日にNPO法人化して、現在のNPO法人よこすかシティガイド協会になりました。

今後も、二十周年を節目として更に研鑽に努め、観光立市横須賀のためにお役に立てるよう頑張る所存であります。



上地市長からのご祝辞

江戸湾防備部会紹介

冨澤 武夫

三浦半島に住んでいる人でなくても、ペリーの艦隊が浦賀に現れたことを引き金に日本の開国が始まったこととはご存知と思います。しかし、ペリーが来るまでも半世紀以上に及ぶ異国船対策の紆余曲折の歴史がありました。こうした歴史は大きくとらえるならば開国史ですが、当部会では地元三浦半島を中心に江戸湾防備の歴史として研究をしています。

二〇〇六年に発足したので既に十六年を経過しており、その間に歴史の経緯をまとめると共に、三浦半島側、房総半島側の台場、陣屋跡の現地確認も可能な範囲で行いましたが、陣屋跡は宅地となり、台場跡等として確認で

きるものは一部の平場や土塁跡らしきものを除いては殆ど無いことが分りました。その後、年一回程度のツアーを企画すると共に、個別のテーマについての自主研究を基に部会内で発表会を実施するなどしてきました。しかし、当初メンバーがほぼ入れ替わったこと、またコロナ感染でこの二年間ほど活動休止状態が続いたことなどから、研究成果の引継が充分でないのが現状です。

コロナも落ち着いてきた今年度は再スタートの気持ちで活動していきたいと考えています。今年度予定しているのは、関連史跡見学とミュージアム見学、そしてミニ講座です。現在メンバーは九人。更なる新人の加入を期待しているところです。

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話 090-6527-9684（理事長 篠原 均）まで

編集後記

3年に及んだコロナ禍もようやく収束が見えてまいりました。これからは、ゲストの皆様も我々ガイドも、不安なくガイドツアーができる幸せを楽しみたいと思います。皆様のガイドツアーへの参加をお待ちしています。

会報編集チームリーダー

小舟浩治